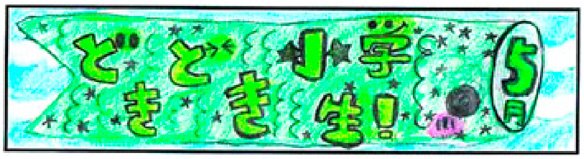
NIE特集

Newspaper In Education

毎月第2・4火曜日発行



古川四小

学校名　大崎市立古川第四小学校　校長　佐々木　茂
所在地　大崎市古川大宮８の２の１　児童　719人
電話　0229（23）8006

開校20周年を祝う!

積極姿勢 受け継ごう

知り隊

私たちが通う古川四小は1990年に開校しました。今年はちょうど開校20周年にあたります。それをお祝いして2月、PTAの方々を中心に記念式典が行われました。そのときご参加いただいた初代校長先生から伺った昔の学校の思い出や地域の様子、式典の中で印象に残った出来事などを、私たち「知り隊」の記者がお伝えします。

先輩見習い伝統築く

開校20周年式典は2月13日に、体育館で行われました。大崎市長、教育長をはじめ、県議会議員や地域のみなさんがたくさんお見えになり、四小の20歳をお祝いしてくださいました。

式典では各クラスの代表がお祝いのくす玉を割ったり、15年後の自分へのメッセージを入れたタイムカプセルを校内の庭に埋めたりしました。また、本校の3期卒業生で仙台を拠点にライブ活動している女性歌手のYUCAさんと地元音楽グループによる歌や演奏があり、式を盛り上げてくださいました。

私たち知り隊は、四小の開校当時どんな様子だったのかなと思い、式典にいらした初代校長先生である佐藤健見先生にお話を伺いました。

開校当時の思い出をお聞きすると、「当時はグラウンドと校舎しかない状態で、PTAの方々が一生懸命整備をお手伝いしてくださったことが印象的だった」とおっしゃっていました。PTAの方々に、グラウンドに砂を入れてもらったり、庭園造りに協力してもらったりしたそうです。

四小は、古川一小と三小から分離、独立してできた学校です。そのためか当時の児童たちは競争意識が強く、「負けず嫌いで、何にでも積極的に取り組む子が多かった」と振り返ります。少し私たちも見習わなければならないと感じました。そして、「小さなことでも、常に目標を持って頑張って」という言葉を私たちに贈ってくださいました。

◇　◇

佐藤先生は、以前は5月に校舎に鯉のぼりを渡したことや、3月には多目的ホールにひな人形を飾ってお祝いしたことなども教えてくださいました。今ではすっかりなくなった行事ばかりなので、ぜひ私たち6年生が復活させたい気持ちになりました。

四小の開校当時のお話をお聞きして、私たちが新しい伝統を作っていくのだと強く感じさせられました。

文・中鉢絢貴、菅原潔仁、武田莉愛、沖田笑寧（6年）

庭園にタイムカプセルを埋めた。15年後に開く

言い隊

■ 見守り隊に感謝して ■

私たちの地区では、見守り隊の方が活躍しています。登下校中に私たちの安全を見守ってくれている方で、隊の門間正治さんにお話を伺いました。

門間さんの元気の源は、実は私たちの明るいあいさつなのだそうです。また、見守り隊の人が立っていても安心せず、自分で自分を守ることを忘れないでほしいとお話してくださいました。なるほど私も見守り隊の方がいると安心しきっているなと思いました。門間さんは私たちに、子どもたちは磨けば輝く原石のようだと言ってくださいました。

温かく見守ってくださる門間さんの気持ちを大切に、安全な登下校をしていきたいです。

（6年・大嶋瀬菜）

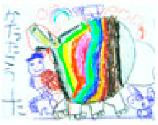
■ お金と物 大切に使う ■

お金は親が一生懸命働いて得たもので、おかげで私たちは何不自由なく生活しています。ところが、お金を無計画に使ったり、必要のない物を買ったりする人が増えていると思います。私たちはそういう状況を直すために、物の値打ちを知ることから始めればいいと思います。

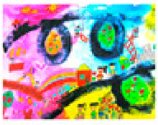
学校にはリサイクル委員会があり、毎週アルミ缶を集めています。お金に換え、車いすやみんなで使う物を購入しています。それ以前、私にとってはアルミ缶はただのごみでした。そのアルミ缶が物に変わることを知りました。ちょっと物の見方を変えただけで、世の中を変えることができるかもしれません。

（6年・岡本うらら、相沢朋花）

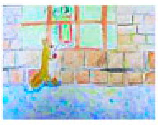
うきうきキャンバス



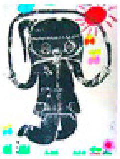
はじめまして　よろしく
1年・片田康太



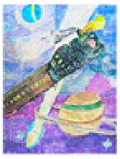
こんなまちにすんでみたいな
2年・野田結愛



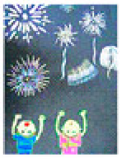
人間のおっとりした声を聞きながら
4年・千葉春香



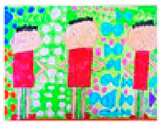
なわとびをしたよ
3年・小鍋さくら



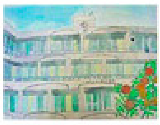
銀河鉄道の夜
卒業生・佐藤謙信



花火を見るぼく・私
5年・江口亜美



がくげいかい
5年・板垣由樹



私が通う学校
6年・北谷久美子

教え隊　のど自慢大会

1月に行われた、のどじまん大会

きれいな歌声を披露

古川四小では月に１回、児童集会を行っています。１月には初の「のど自慢大会」が行われました。オーディションで選ばれたのど自慢の８組のみなさんが出場、審査員は校長先生をはじめとして３人の先生方がつとめてくださいました。

どの出場者も練習の成果を発揮し、元気できれいな歌声を聞かせてくれました。全校児童が大いに盛り上がり、楽しい集会となりました。これからもこのような企画を通して笑顔でいっぱいの四小にしていきたいと思っています。

文・野村大城、佐々木萌絵、佐々木麻奈（６年）

編集後記

私たちは昨年度末から、新聞記事を作るために毎週水曜日放課後に、一人一人の役割を決めて一生懸命に取り組んできました。「どきどき小学生」の記事を楽しみにしている人たちのために、インタビューをもとに原稿を作ったり、分かりやすく読んでもらうために構成を考えたりと頑張りました。

新聞を作るのはこんなに大変なのだと思いましたが、今はやり遂げたうれしさでいっぱいになりました。新聞作りは、責任が重い、すばらしい仕事だということも分かりました。この機会を与えてくださった方々に感謝したいと思っています。

〈編集委員〉中鉢絢貴、菅原潔仁、武田莉愛、沖田笑寧、野村大城、佐々木萌絵、佐々木麻奈、大嶋瀬菜、岡本うらら、相沢朋花、伊東咲花、梶原真優（6年）

題字デザイン　伊東咲花、梶原真優（6年）

〈指導教諭〉中山浩子（現西大崎小）、小林真澄、高橋浩

次回（25日）は古川五小（大崎市）と八幡小（仙台市）です。